

新型コロナウイルス感染症患者（11例目）の発生について（第1報）

令和2年4月6日（月）、広島市内の医療機関から、新型コロナウイルス感染症を疑う患者が受診している旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、同日、陽性であることが確認された。

1 患者概要

- (1) 年代：40歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 職業：会社員
- (5) 症状：発熱、咳、倦怠感、悪寒、味覚異常（現在、症状は安定している。）

2 行動、症状の経過等

- 3月30日（月） 福岡市内から広島市内へ転居
3月31日（火） 午前9時、転居手続きのため中区役所を利用
昼過ぎに倦怠感、悪寒
4月1日（水） 午前、転居に伴う運転免許証の変更手続きのため中央警察署を利用
4月2日（木） 倦怠感、悪寒継続。日中は37℃代後半の発熱
保健センターに相談の上、近隣の医療機関に連絡するも、発熱等を理由に受診を断られ、自宅で経過観察
4月4日（土） 倦怠感、悪寒継続。味覚障害出現。日中は37℃代後半の発熱
自宅で経過観察
4月6日（月） A医療機関を受診
医師が新型コロナウイルス感染症を強く疑い、検体を採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
感染症指定医療機関に入院

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はなく、発症後は、4月3日及び6日を除いてマスクを着用していなかった。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。